

---

# 墮天使REAL

彪崎葵羅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

墮天使REAL

### 【Nコード】

N5756E

### 【作者名】

彪崎葵羅

### 【あらすじ】

世界が壊れる日。青年は生きていた。青年、輪廻は名も無き歌を歌っていた。名も無き歌をいつもように歌い終わるとこの世の者ではない者、墮天使ナルミが現れて彼女が此処に來た理由を知るが、なぜか悪魔・天使から追われてしまう。ナルミはある条件をつけ輪廻を守るが、ナルミは天使と悪魔の見方だった

## プロローグ（前書き）

矛盾してるお話です。

## プロローグ

### 【プロローグ】

戦の中。

少女は自分の背に生えてる翼で青年を庇いながら言う。

また貴女様に出会えて本当に良かった

少女は笑顔のまま瞳に大粒の雫を溜まられる。

また生まれ変われるなら

今度は……

途切れ途切れの声は弱々しくなく、いつもの凜とした声だった。

「やめろ……よ。…頼む……これが最後みたいなこと……言いやが  
って……いつもみたいに……ふざけた言葉で……俺をからかえよ…  
…ナルミ」

涙声の青年が必死に少女の声を掻き消して、止めている。

私は貴女様……いや、輪廻のことが嫌いでした

そして好きでした

愛していました

想いを話す少女の顔は寂しく、そして泣きながら笑を零し、青年の顔を見つめる。

「ナルミ……俺はこんなのは嫌だ……ぐっ……はっ……こんな別れは……嫌だ……」

輪廻

ありがとう

後、ごめんね……

最後の言葉を少女は言っと、自分の闇でもあり光でもある翼を広げ、少女は同じ羽を持つ者達の中に、目掛けて突っ込んで行った。

ドカアアアアアア！！

ぶつかった瞬間少女の周りは光りに包まれた。  
少女の周りが全て無になる。元に戻るかの様に。

「……ナルミッ……！」

青年は叫びは虚しく青空に響き渡った。

世界が壊れる日。

青年は生きていた。

## 一話【出会いの鎖】

《叫べば君は現れるの?》

歌声が聞こえる。

《僕は知っている君は空に住んでるから》

哀しみに似た歌声は空中を侵略する。

《また君に逢いたい》

歌が空中に吸い込まれるように消えた。

キンーコーンカーンコン。

鳴り響く鐘の音。

名も無き歌を歌っていた青年が動きだした。

青空が見える。此処は学校の屋上。

目を細めてしまう太陽の眩しさに、青年は手を天に伸ばし太陽を隠し、神に問う。

「神……この名も無き歌はなんて言っんですか?」

さっきの歌声と違って冷めた声。

毎日、此処でこの言葉を青年は言う。まるでそれが日課のようだ。

ピリピリ〜

まいぶれもなく流れる機械音。

「……メールか？」

青年がポケットから黒い携帯電話を取り出し、画面を見る。

メール内容がしょうもなかったのだろう……青年は表情を変えないまま、すぐに元のポケットに入れて、ドアのほうに向かって歩き出す。

さっきの歌を口ずさみながら。

「ねえ……その歌何って言う歌？」

空から舞い降りた美声。

神に捧げる賛歌の歌い手って言うっても偽りじゃない。

まるで時がいきなり止まったように、青年は歌うのをやめて、いきなり立ち止まった。

そして声が聞こえたほうを向く。

「……!?」

青年は絶句し腰を抜かしてしまった。

青年が驚くのも仕方ない……彼の目の前にいた人物は空に浮いていたのである。

しかも、綺麗な汚れなき白銀の翼と妖艶な闇の漆黒の翼が生えてる人物。



まだ白銀の翼だけなら、天使と言えるが、青年の目の前に現れた者は片翼が異なっていた。

それと眼球の色も異なっていた。

母なる紺碧の海の右眼。深紅色の炎の左眼。

そして唯一異ならない満月色の黄金の長髪。

美麗で妖艶のオーラを身に纏い。

白の修道服をきてるが、それは純銀の十字架と鎖で装飾されていた。プラス二つの膨らみがあった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5756e/>

---

堕天使REAL

2010年12月31日02時14分発行